



ケアとしての居場所

心とことばが交差するところ

山田 勘 一

更生保護法人ウィズ広島 理事長

近頃、「居場所」という言葉を目にするようになりました。さいしょは社会学者、マスメディア。そして官庁文書にも。居場所をめぐる物語はマンガの世界にも広がっています。都会の河岸公園を舞台に展開される、高校2年生、瀬戸と内海をめぐる多彩な青春群像を描く此元和津也作『セトウツミ』（秋田書店）。そこから感じるのは、生きるということは自分の居場所を人に分かちこと、また奪われることだと知るので。

5年余り、毎日のようにウィズ広島にきて玄関前、階段の清掃、剪定、コラージュ作成会などの会場づくりを手伝っていた、79歳退所者が万引きで捕まりました。知的に少しハンディがあり、分かっただろうと、ひたすら話し、よどみ、繰り返す、その気持ち

返す、その気持ち私を動かし、耳を傾けてきました。日常の金銭管理、炊事などで市社協の福祉サービスに繋ぎ、支援してきたつもりでした。植木の水やりで在所者といさかい、いらだち、清掃後、「土曜日の朝の職員は、知らん顔してコーヒーを出してくれなかった…」と不満を募らせていました。そのことだけが万引きへの衝動ではないでしょう。でも今思うと当時、彼は存在を無視され、侵されることへの怒り不安に苦しんでいたのではないかと、ふと1997年、神戸連続児童殺傷事件、当時14歳の犯人が書いた、「透明な存在であり続けるボクを、せめてあなた達の空想の中だけでも実在の人間として認めて頂きたいのである」という憤りを思い出し、退所5年経つ、彼の再犯の意味をいまも問いつづけています。

傑作マンガ『セトウツミ』の最終巻、「俺だっががんばっているやん…、たまには褒めてくれてもいいやん」。父親のまえで初めて小さく泣く、内海想そう。また、バルーンアートの師匠でもあった、瀬戸の祖父に出会った失意のバルーンが「お



師匠さん」と声をかけ、振り向いた師匠から「よう頑張ってるな、よう頑張ってる」といわれ、大きな涙を浮かべます(上掲の画像。此元和津也作『セトウツミ』最終話、秋田書店刊から引用しました)。ベラルーシから来日8年、バルーンアートの大道芸で生きている、辛苦の歳月が想像されます。昨年、再犯防止推進計画が策定され、国は更生保護施設に住居の確保、一時的な居場所の提供、それらを通して専門的処遇の場を期待しています。だが、今までの人生で心理、身体、精神に障害をもち、また犯罪をしたために、生きづらく生きている人たちの居場所とは、そこに「ことば」が交差し、「こころ」がないと、居てもいいよという場所にならないのではないかと。「彼は、私の賞讃を身に感じ、自分は孤独でないこと知り(私が、現実に彼のためにいることが分かり)、心を安んじるのである。…これがその人を、その人本来の姿に立ち返らせる一助となっている」(ミルトン・メイヤロフ『ケアの本質』1971刊)。もう50年近いまえの言葉です。



国連アジア極東犯罪防止研修。高官研修で「更生保護」を語る山田理事長。

わずかながら増える、実人員

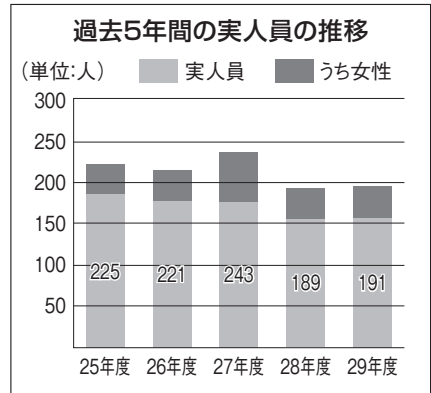
2017(平成29)年度(2017.4~2018.3)事業成績報告

実人員

2017(平成29)年度中に宿泊した利用者の実人員は、前年度に比べ2人増の191人、うち女性は、1人増の43人でした。しかしながら、施設利用率は前年度を5.0ポイント下回る83.5%でした。

2017年度の実人員の内訳は、救護・援護利用者169人(うち女性42人)、更生緊急保護利用者20人(同1人)、任意2人(同0人)でした。更生緊急保護利用者は、前年度に比べ12人増でした。

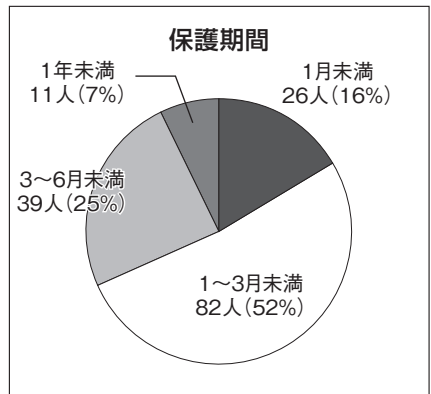
区分	25年	26年	27年	28年	29年
実人員	225	221	243	189	191
うち女性	43	46	56	42	43



保護期間

利用した(保護)期間は、1月未満が26人(うち女性6人)、1月から3月未満が82人(同20人)、3月から6月未満が39人(同6人)、1年未満が11人(同3人)でした。前年度と比べ特筆すべきは、1月未満の利用者が6人、30%増え、1年未満が2人、15.4%減ったことです。

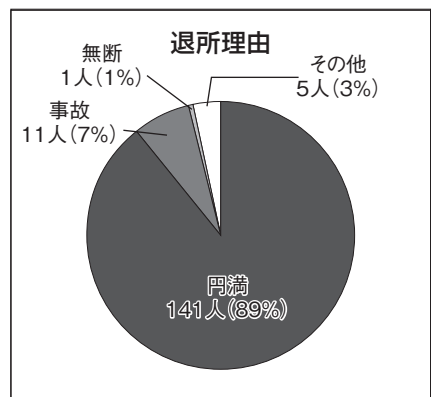
区分	1月未満	1~3月未満	3~6月未満	1年未満	合計
実人員	26	82	39	11	158
うち女性	6	20	6	3	35



退所理由

退所者のうち、円満退所者が141人(うち女性34人)、事故退所者11人(同1人)、無断退所者1人(同0人)、その他5人(同0人)でした。退所者158人(同35人)中、男性は107人、87.0%が、女性は34人、97.1%が円満退所しています。事故退所は1人増え11人でしたが、うち女性は4人減り1人でした。

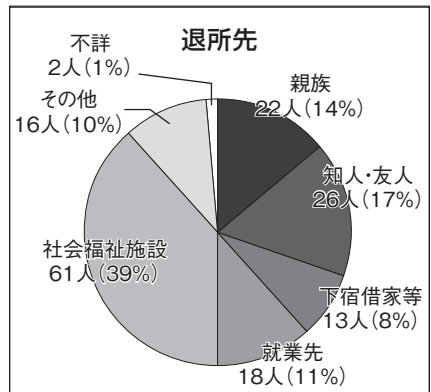
区分	円満	事故	無断	その他	合計
退所人員	141	11	1	5	158
うち女性	34	1	0	0	35



退所先

退所したところは、親族22人(うち女性13人)、知人・友人26人(同6人)、下宿・借家等13人(同2人)、就業先18人(同0人)、社会福祉施設61人(同12人:生活保護を含む)、その他16人(同2人)、不詳2人(同0人)でした。「親族」のもとへの退所者が前年度に比べ8人(女性4名増)、26.7%減り、「知人・友人」のもとには逆に9人(同3人増)、52.9%増えました。また、「就業先」に退所した人も前年度に比べ3人(同0人)、20%増えています。社会福祉施設など生活保護を受給して退所した人が61人(同12人)、38.6%で、前年度に比べ男女1人ずつ増えるなど、依然、福祉に頼る利用者が増加する傾向にあります。

区分	親族	知人・友人	下宿借家等	就業先	社会福祉施設	その他	不詳	合計
実人員	22	26	13	18	61	16	2	158
うち女性	13	6	2	0	12	2	0	35



めざす、安定経営

2017(平成29)年度 連結収支決算(一般会計と特別会計の合算)報告

収入 1億1,415万円 支出 1億1,390万円 繰越金 25万円

連結収支の状況は、前年度実績と比べ、収入で377万円、3.2%、支出で242万円、2.1%減りました。

□収入

前年度に比べ実人員は2人増え、寄附金収入、財産収入等は増えたものの、更生保護委託費収入のうち委託事務費収入が212万円、2.9%減、食事付宿泊収入が382万円、18.7%減ったことなどにより、更生保護委託費収入は483万円、4.9%の減収となりました。

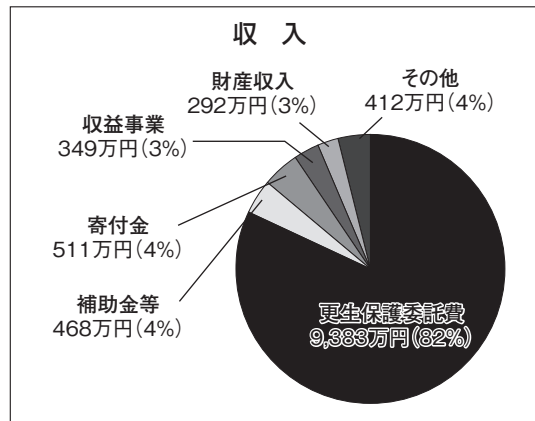
この要因の一つには、平成30年1月に自立困難者加算が廃止されたことがあります。

なお、太陽光発電収入は84万円、駐車場収入265万円と合わせて収益事業収入は349万円でした。

単位：万円

科目	更生保護委託費	補助金等	寄付金	収益事業	財産収入	その他	合計
金額	9,383	468	511	349	292	412	11,415

- *更生保護委託費～国からの委託費収入
- *寄付金～篤志者・賛助会・役員等からの寄付
- *補助金等～地方公共団体・小規模修繕助成金等
- *収益事業～駐車場賃貸料・太陽光発電電力供給収入
- *財産収入～利息・配当収入
- *その他～任意被保険者負担金・特別会計繰入金・雑収入等



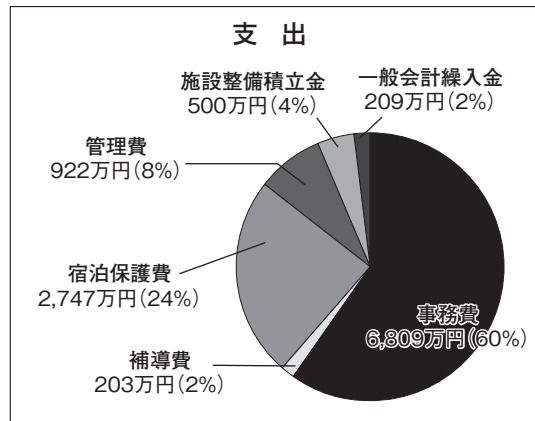
□支出

支出は前年度に比べ242万円、2.1%減りました。平成30年1月に補導職員1名を採用したことにより給与、福利厚生費が増え、女性浴室の改修で施設補修費が167万円増えましたが、事務費としての支出は、前年度と比べ74万円、1.1%の減でした。補導費は、前年度と比べ4万円の減でした。宿泊保護費は、食糧費が67万円、6.1%減ったこともあり、前年度と比べ65万円、2.3%の減となりました。管理費は、会議費、福利厚生費等が増え、前年度と比べ22万円増えました。

単位：万円

科目	事務費	補導費	宿泊保護費	管理費	施設整備積立金	一般会計繰入金	合計
金額	6,809	203	2,747	922	500	209	11,390

- *事務費～給料手当・施設補修費・福利厚生費・役務費等
- *補導費～補導連絡費・通信運搬費・補導研究費等
- *宿泊保護費～食料費・水道光熱費・消耗品費等
- *管理費～給料手当・租税公課・福利厚生費等
- *一般会計繰入金～収益事業収入からの繰入金



2月27日、財務省主計局千家倫彦主査に事業報告を行う。



司法修習生に更生保護の歴史などを語る。

ケアとして、 退所者支援をめざす

鹿嶋知之
福祉専門員

私が数年前に観た映画で、『人生ここにあり』という作品があります。舞台は1980年代、イタリアで施行されたバザーリア法のもと、熱血漢あふれる主人公が、精神に何かしらの障害を抱えた人々と共に目標を持ち、成長していく過程を描いた物語です。社会から隔絶された人々の社会参加の歩みがテーマになっているという面では、退所者を支援するうえで、何か相通じるものを感じることができた作品です。昨年、法務省は退所者の「フォローアップ事業」として、更生保護施設を退所した人たちの支援を策定しました。以来、ウィズ広島では、これまで以上に退所者の心理・生活支援に力を注ぐことにしました。従来行っ

てきた、来所や電話による生活相談支援、薬物等使用障害からの回復支援などに加え、気軽に立ち寄れる居場所「ウィズカフェ」の実施、こころの内面に焦点をおいたカウンセラーによる相談面接、また、必要があると認められるときは、ハローワークなどへ繋ぐなどして就労を支援し、ひとりでは日常生活を送ることが困難である高齢、障害のある人などには、地域包括支援センター等の地域の人的資源に繋ぐ調整、それでも十分でないときは通院を介助するなど、退所者が社会的に孤立することのないよう包括的な支援に取り組んでいます。私のもとにも、毎月数名の退所者が生活相談等で訪ねてきますが、彼ら、彼女らが

安心して地域で自立した生活を継続できることが、なにより大切な社会復帰に向けた支援だと考えています。アメリカの臨床心理学者であり、クライエント中心療法の創始者でもあるカール・ロジャース博士は、著書の中で「人間は、共感的で深く信頼できる人間関係や生活環境と出会うことができれば、あるがままの自然な傾向として、適応・回復・成長へと変容していく性質を本来的に持つ」と述べています。私も共感し寄り添う姿勢を心がけるとともに、『人生ここにあり』の主人公のように、退所した利用者のエンパワメント＝湧活を引き出し、生きる力を身につけていけるよう、日々支援に努めていきたいと思っています。



閉じこもりがちな利用者の息抜きの日、ウィズカフェ。地域ボランティアによるお点前、抹茶8杯飲んだ青年利用者もいて大好評。



練習課題「断わる」をめぐる利用者に参加したSST(社会生活技能訓練)によるコミュニケーション学習。



本音で語りあえる、ひまーぷカフェ＝薬物使用障害(依存)からの回復プログラム。



安心して社会へ出ていく予備学習、求職座談会。

語りを、 魂で聴く

山崎 貴子
心理カウンセラー

みなさんは「心理カウンセリング」と聞くと、どのようなイメージを持たれますか?本当に役に立つのか怪しい感じ?心に病を患った人がするもの?確かに密室の中の不透明さゆえ、疑問が生じる面は否めません。そこで、相談室での心理カウンセリングの様子をご紹介します。心理療法である心理カウンセリングには、さまざまな手法があります。私が相談室で行う心理カウンセリングは、数値化や宿題形式の日常行動の確認などは行いません。積極的なアドバイスは控え、「今、ここでの出会い」を重視し「利用者さんの話を徹底的に聴き入る」こと

を心がけています。語りの中で自らの歴史を振り返り整理していくうちに、気づかなかつた願いや葛藤を、語る本人が主観的に発見するのをサポートします。その作業には本来、数年単位の時間を要します。ウィズに入所される方の多くは、非常に深刻な心の傷を負っておられます。届かぬ母を想い、子どものように洋服の袖で何度も涙を拭う男性。終了後も涙で起立できない女性。人はみな、簡単には解決できない課題を抱えて生きています。その苦しみを他人に打ち明けることは、大変勇気がいることです。私は語る方の想いを共に味わい、魂で聴き、時に

共に涙も流します。それがわずか一度の出会いであったとしても、その体験は確かなつながりとしてそこに存在するのです。このたび入所後には原則、心理カウンセリングを受ける新しいカウンセリングプログラムが編成されました。新たな利用者さんとの出会いを心から楽しみにしています。今後ともよろしく願いいたします。

(臨床心理士)



コラージュ作品をつくった意図を語る、コラージュ鑑賞会。



いざ、河岸公園の清掃に出発する利用者たち。地域の人たちに喜ばれています。



利用者の健康診断で問診される、済生会広島病院、隅井院長。

人事異動

(退任) 本年6月11日、木村美代子評議員が任期満了で退任されました。木村さんは平成9年6月評議員に就任され、保護司、更生保護女性会員を務められる中、ウィズ広島の健全運営に多大な貢献を続けてこられました。ありがとうございました。

(新任) 理事：本年5月22日付けで古屋由利子氏(会社役員)が就任されました。

評議員：本年6月12日付けで岸本三悦子氏(中地区更生保護女性会長)が就任されました。

2018(平成30)年1月1日から5月31日まで、みなさま方からお預かりしたご寄付は、

1月

匿名：赤ヘルタオル 3 枚、安佐南地区更生保護女性会：給食材料 **(写真①参照)**

2月

笠岡地区更生保護女性会：洗濯用つめかえ洗剤(810g) 5 本、漂白剤つめかえ(480g) 5 本、ぬいぐるみ(ほごちゃん) 2 体、匿名：女性衣類 27 枚、匿名：現金 3,000 円、白倉弘子：いもけんぴ 3 袋、土井寿美子：茶 2 缶、安佐北地区更生保護女性会：給食材料 **(写真②参照)**、竹本絹枝：調味料各種、

大根、ゆず、レモン、匿名：赤えび 1 kg、
口田民生児童協議会：現金 5,000 円、
大野宣江：玄米 30 kg、慶徳こすえ：
草団子 36 個

3月

匿名：女性用衣類 88 点、同ハンカチ
15 枚等、男性用下着 50 点、同ズボン
17 本等、広島県更生保護女性連盟：
ひなまつり交流会材料 **(写真③参照)**、
慶徳こすえ：三色団子 81 個、匿名：
あさり 894g、匿名：布団一式等、能
美直哉：米 30 kg、村上正人：スクリ
ーン(90 サイズ)、藤原薩子：おき栗
5 袋、うどん乾麺 1.2 kg、そうめん

2.6 kg、そば 980g、匿名：エプロン 2 点、
ストッキング 3 足、女性衣類 1 等、
ウイズ広島賛助会：現金 160 万円、
広島安芸地区更生保護女性会：給食材
料 **(写真④参照)**、平口さとみ：味の
り 50 袋、ふりかけ 30 袋、タオル 8 枚、
クッキー 500g 等、久保加代子：現金
10 万円、木本正志：ホワイトチョコ
アイス 48 本、平口さとみ：卵 15 個

先日、娘が来てくれ、今の家で食事を
一緒にし、夕方帰りました。娘が来て
くれたこと、ほんとうに夢のようです。
退所者の手紙から

施設利用者、退所者に



① チキンのハーブ焼き&コロツケ作りに取り組まれる安佐南地区更生保護女性会のみなさん。



② 魚フライ、肉じゃが作りが勢ぞろいされた安佐北地区更生保護女性会のみなさん。



③ ひな祭り交流会。にぎやかに笑いながら交流する女性利用者、広島県更生保護女性連盟、会長、副会長のみなさん。



④ 今日はヒレカツと白身魚フライを作ります、と張り切られる広島安芸地区更生保護女性会のみなさん。



⑤ 鶏ボン酢のさっぱり煮が今日の夕食です、と笑われる広島佐伯地区更生保護女性会のみなさん。



⑥ 利用者から喜ばれている、河井基美代さん寄付のマッサージチェア。

次のとおりです。

4月

匿名：電子レンジ 1 台、匿名：男性衣類 7 点、くつした 10 足、女性用衣類 60 点等、土井寿美子：抹茶（ウィズカフェ用）等、広島佐伯地区更生保護女性会：給食材料、カステラ 40 個、手作りゼリー 40 個、はっさく 20 個（写真⑤参照）、匿名：ドライヤー 1 台、匿名：男性肌着 24 点、女性衣類 112 点、男性衣類 59 点、匿名：ドライヤー 1 台、河井基美代：衣類 6 着、袋 2 個

5月

島山昭雄：現金 10,000 円、嘉屋進：

現金 10,000 円、河井基美代：マッサージチェア 1 台（写真⑥参照）、広島県更生保護女性連盟：端午の節句交流会材料（写真⑦参照）、慶徳こずえ：かしわ餅 40 個、幟建末子：かしわ餅 40 個、藤原薩子：そうめん 1.8 kg、夏みかん 23 個（写真⑧参照）、木本正志：アイスクャンディ 48 本（写真⑨参照）、中地区更生保護女性会：給食材料（写真⑩参照）、幟建末子：生花（ひまわり、もみじ）、花瓶 2 個、大野宣江：玄米 30kg、糸川幸良：現金 10,000 円、河井基美代：男女衣類 25 点、コルセット・サポーター 4 点、

広陵西組仏教婦人会連盟：現金 10 万円（写真⑪参照）、一般財団法人多山報恩会：現金 100 万円（写真⑫参照）、河井基美代：男性用靴 5 足、匿名：男性衣類 39 点、女性用衣類 28 点、靴 1 足、匿名：ポーチ 3 個、小銭入れ 2 個、包丁研ぎ 1 個等

6月以降のご寄付は、2019年1月号ニュースレターへ、掲載します。

つなぐ、みなさんの気持ち



広島県更生保護女性連盟地域活動部のみなさんの手作りごちそう、端午の節句交流会。食後、リーダーの誘いで盛り上がった、西地区更生保護女性会コーラス部ソレイユとの合唱「鯉のぼり」。



長いなが〜い間、手作りみかん、野菜などでつながる藤原薩子さん。



木本正志さんからの寄付、アイスクャンディ。地域清掃活動後の汗を忘れさせます。



大きな豚肉を用意し、とんかつ作りにとりかかれる中地区更生保護女性会のみなさん。

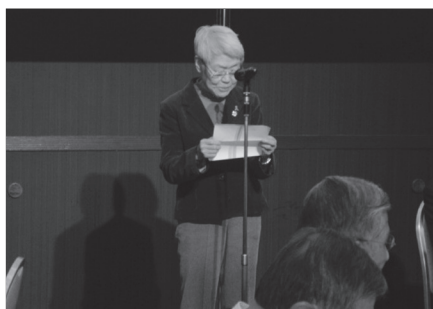


愛の定期便。広陵西組仏教婦人会連盟、秋田幸子委員長からダーナ献金を贈られる嘉屋常務理事。



更生保護事業に役立ててほしいと寄付金贈呈後に懇談される多山報恩会中丸理事長と山田理事長。

ウィズ広島を支える、みなさまの会費



ウィズ広島ネット謝恩懇話会であいさつする、林千秋副会長(2018年1月26日)



ウィズ広島ネット謝恩懇話会を盛り上げるビンゴゲーム。

長くお会いしていません。本当出掛けて行きたいと思います。(脳腫瘍手術のため)再入院する前に出掛けたいと勝手に思っております。梅雨に入る前に出掛けたいと思います。

退所者の手紙から

2017(平成29)年度登録会員 **160** 会員
会費収入 **183** 万円
ウィズ広島への寄付 **160** 万円

2018(平成30)年3月31日現在

ウィズ広島賛助会は、罪を犯した人や非行のあった少年の自立を支援しているウィズ広島の活動を応援しています。

2018年3月31日現在、会員は160会員、うち個人93会員、保護司会23会員、更生保護女性会23会員、企業・法人21会員です。新規4会員、退会10会員、差し引き6会員減りました。

今年1月1日～5月31日までに会費をお預かりした方々のお名前を報告し、お礼を申し上げます。

ウィズ広島賛助会会長 **迫谷 富三**

【個人会員】

29年度 森野敏章、恵木田鶴子、菅 和美

30年度 先小山英夫、木原正壽、佐伯 稷、岡田 忍、谷本知子、木本正志、林 千秋
井町重遠、糸川幸良、山田勘一、嘉屋 進

【企業会員】

29年度 境谷工業株式会社、株式会社MTGマネジメント

30年度 株式会社綜企画設計

【更生保護女性会・保護司会会員】

29年度 南地区保護司会、三原地区保護司会

30年度 三次地区更生保護女性会、中地区更生保護女性会

■ウィズ広島役員等

【顧問】浅尾幸正【参与】永田雅紀

【理事】山田勘一(理事長)、山田一夫(副理事長)、畠山昭雄(常務理事)、嘉屋 進(常務理事)、織建末子、中島和雄、和泉 真、林 千秋、藤島秀孝、古屋由利子

【監事】柳原芳樹、隨行克之

【評議員】慶徳こすえ、木本正志、井町重遠、山本隆照、繁政秀子、平口さとみ、久保加代子、楠本次子、糸川幸良、大野宣江、新宅典明、西田志都枝、内海幸一、石森雄一郎、岸本三悦子

■ウィズ広島職員

【施設長】稲垣 宏【事務長】小根森敬子

【補導主任】竹岡靖宏、藤原一喜

【補導員】田中博敏、沖村和夫

【福祉専門員】岡本進佑、鹿嶋知之、松尾能子

【薬物専門員】野澤 忍、高杉敬一、辰本尚子

【事務員】玉井信子【調理主任】吉和栄枝

【調理員】江藤民子【非常勤】吉和真奈美

■ウィズ賛助会役員

【会長】迫谷富三 【副会長】林 千秋、反田哲顕 【理事】先小山英夫、深堀 勝、井町重遠、宇恵一枝

【幹事】堀江洋治、山本隆照

以上